

# 第一章 良導絡測定法

## (1) 良導絡とは

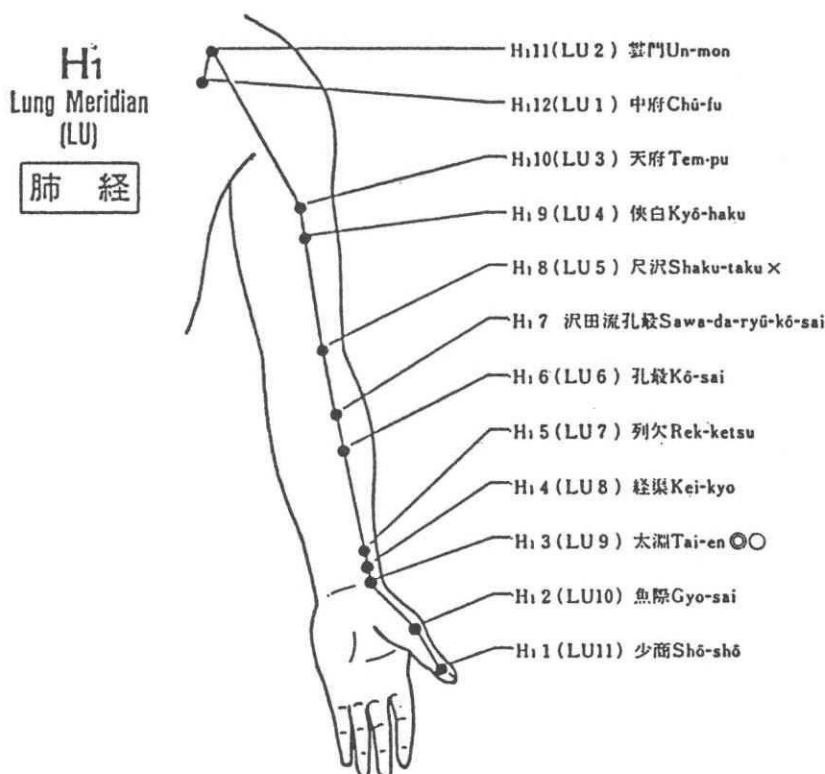
人体の皮膚上を、21V前後の弱い直流電流を通じた導子（湿性または乾性どちらでもよい）でさぐると、数多くの電気の特に通り易い点、即ち、通電抵抗の減弱部分がみつかれる。これらの減弱部分はほとんど全身に見られる。良導点とは、減弱部分は電気の通り易い点ということで良導点と各付けられた。そこで電圧を下げて、12V前後で探索するとこれらの良導点はほとんど不鮮明となる。反応良導点とは12Vでも鮮明に現われる良導点をいう。良導絡とはこれらの反応良導点のうち、主なものをつないだものを良導絡とよぶ。（良導点、良導絡の定義の仕方は諸説あるが、ここでは臨床的に最も便利な定義に従う。）良導絡は12種、左右対象で24本ある。また直接臓器に関係ない前後正中線を走行する2本のHM及びVMが追加される。このような良導絡は次に示すような形態をしている。

記号は良導絡記号の他に、カツコの中にDr.

Felix Mann の記号及び経穴名を記載した。

Dr. mann の記号との関連は次のとおり。

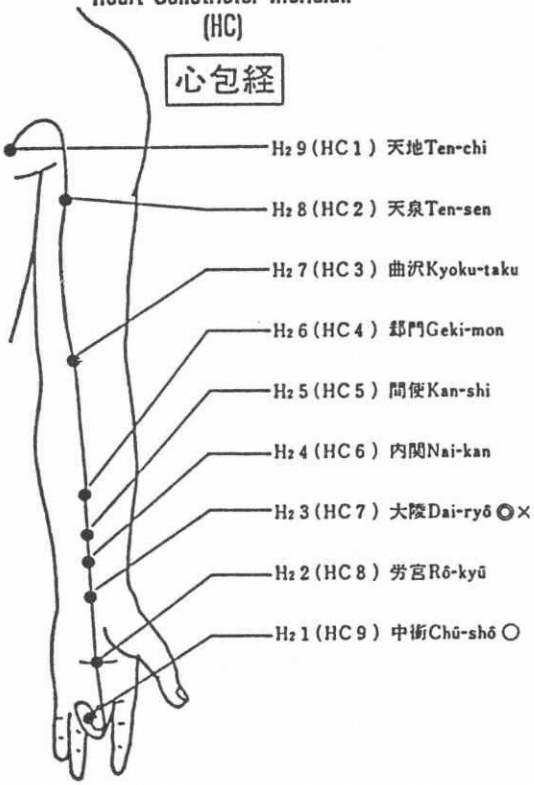
H <sub>1</sub>	肺 経	Lung Meridian (LU)
H <sub>2</sub>	心包経	Heart Constrictor Meridian (HC)
H <sub>3</sub>	心 経	Heart Meridian (HT)
H <sub>4</sub>	小腸経	Small Intestine Meridian (SI)
H <sub>5</sub>	三焦経	Triple Heater (Lymph) Meridian (TH)
H <sub>6</sub>	大腸経	Large Intestine Meridian (LI)
F <sub>1</sub>	脾 経	Spleen Pancreas Meridian (SP)
F <sub>2</sub>	肝 経	Liver Meridian (LV)
F <sub>3</sub>	腎 経	Kidney Meridian (KI)
F <sub>4</sub>	膀胱経	Bladder Meridian (BL)
F <sub>5</sub>	胆 経	Gallbladder Meridian (GB)
F <sub>6</sub>	胃 経	Stomach Meridian (ST)
VM	任 脈	Conception Vessel Meridian (CV)
HM	督 脈	Governor Vessel Meridian (GV)



## H<sub>2</sub>

Heart Constrictor Meridian  
(HC)

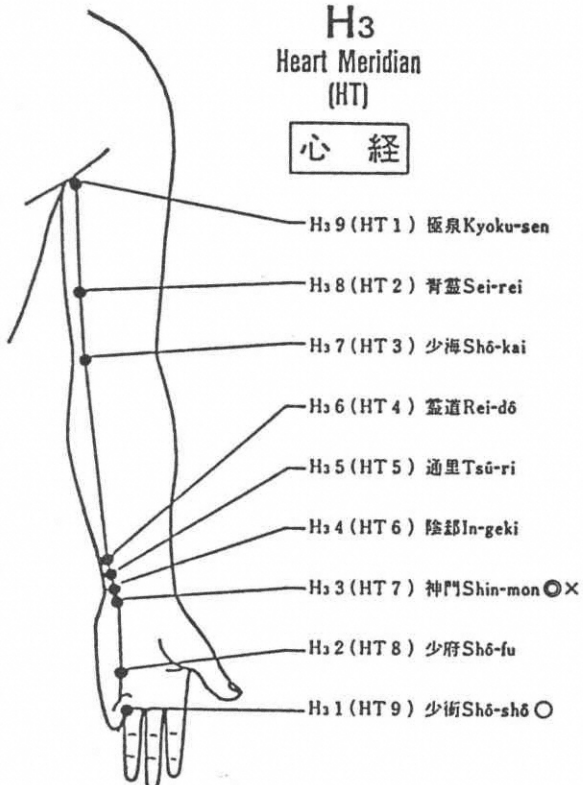
心包經



## H<sub>3</sub>

Heart Meridian  
(HT)

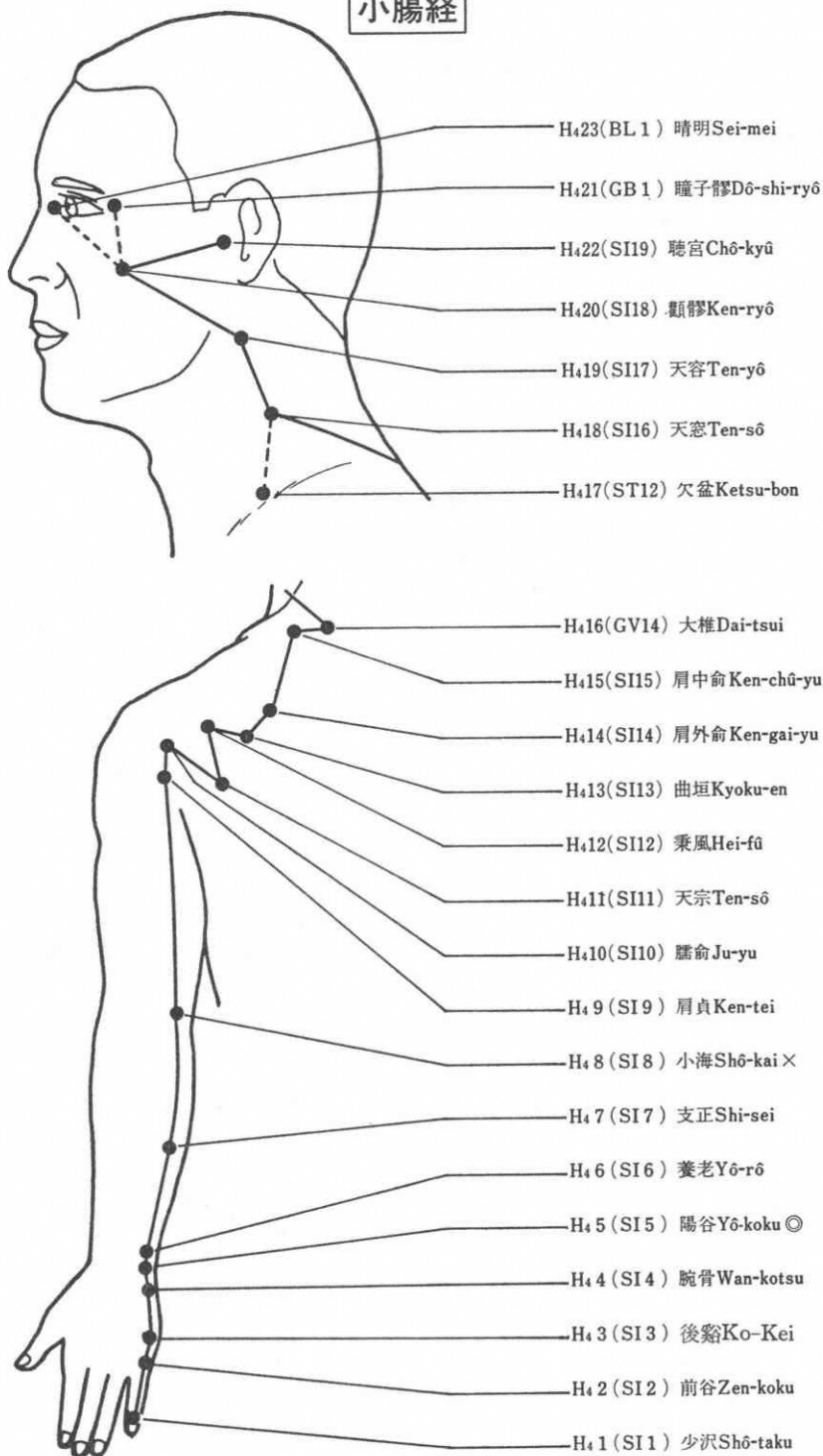
心經



- ⊙ 良導絡代表測定点
- × 良導絡抑制点
- 良導絡興奮点

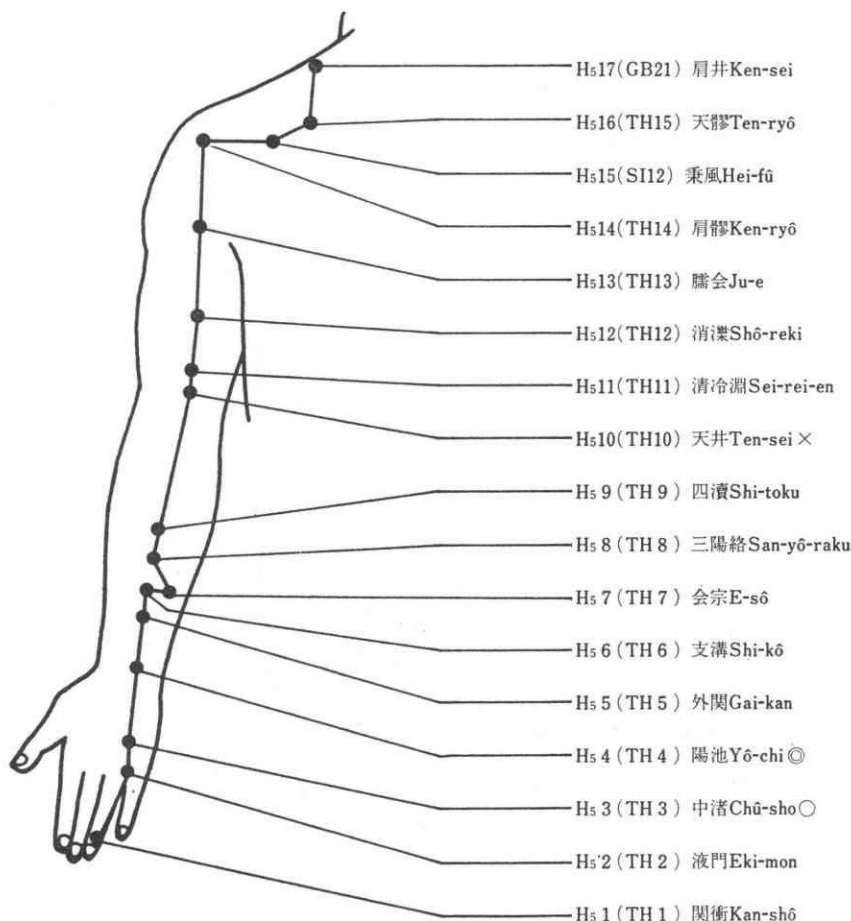
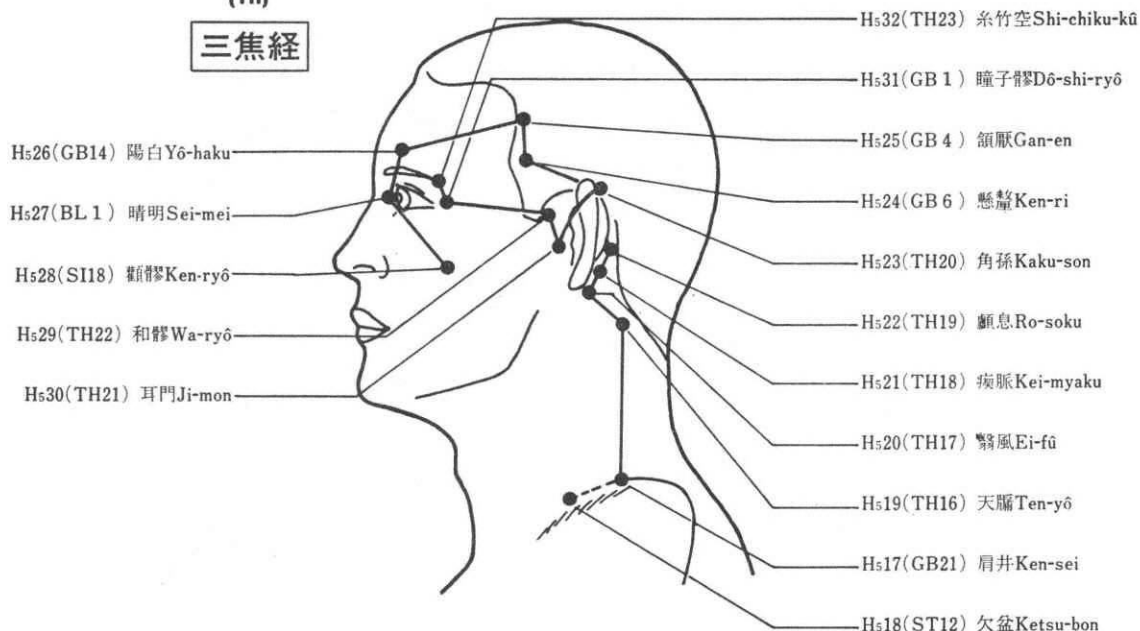
# H4 Small Intestine Meridian (SI)

小腸経



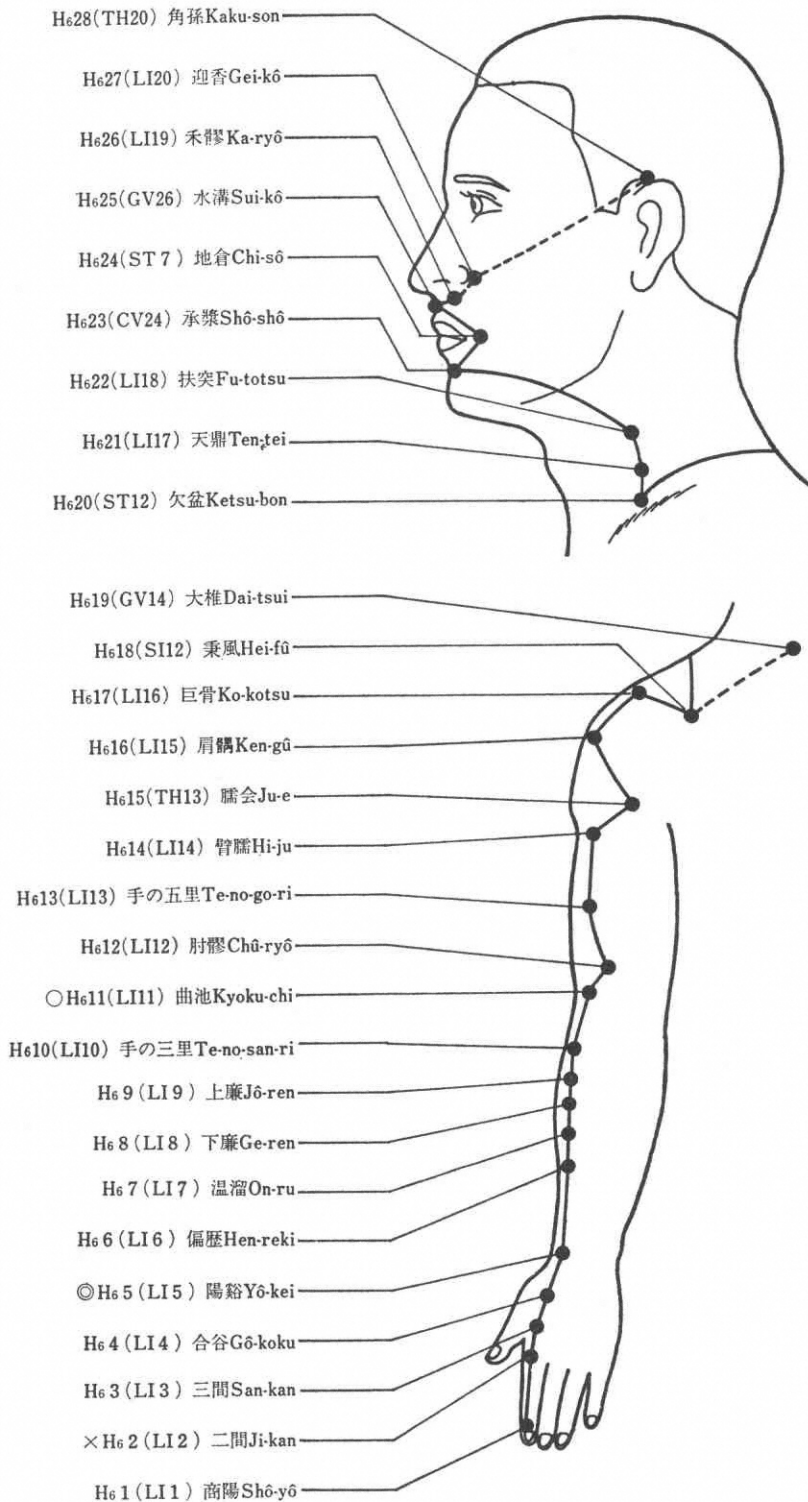
# H5 Triple Heater (Lymph) Meridian (TH)

三焦經



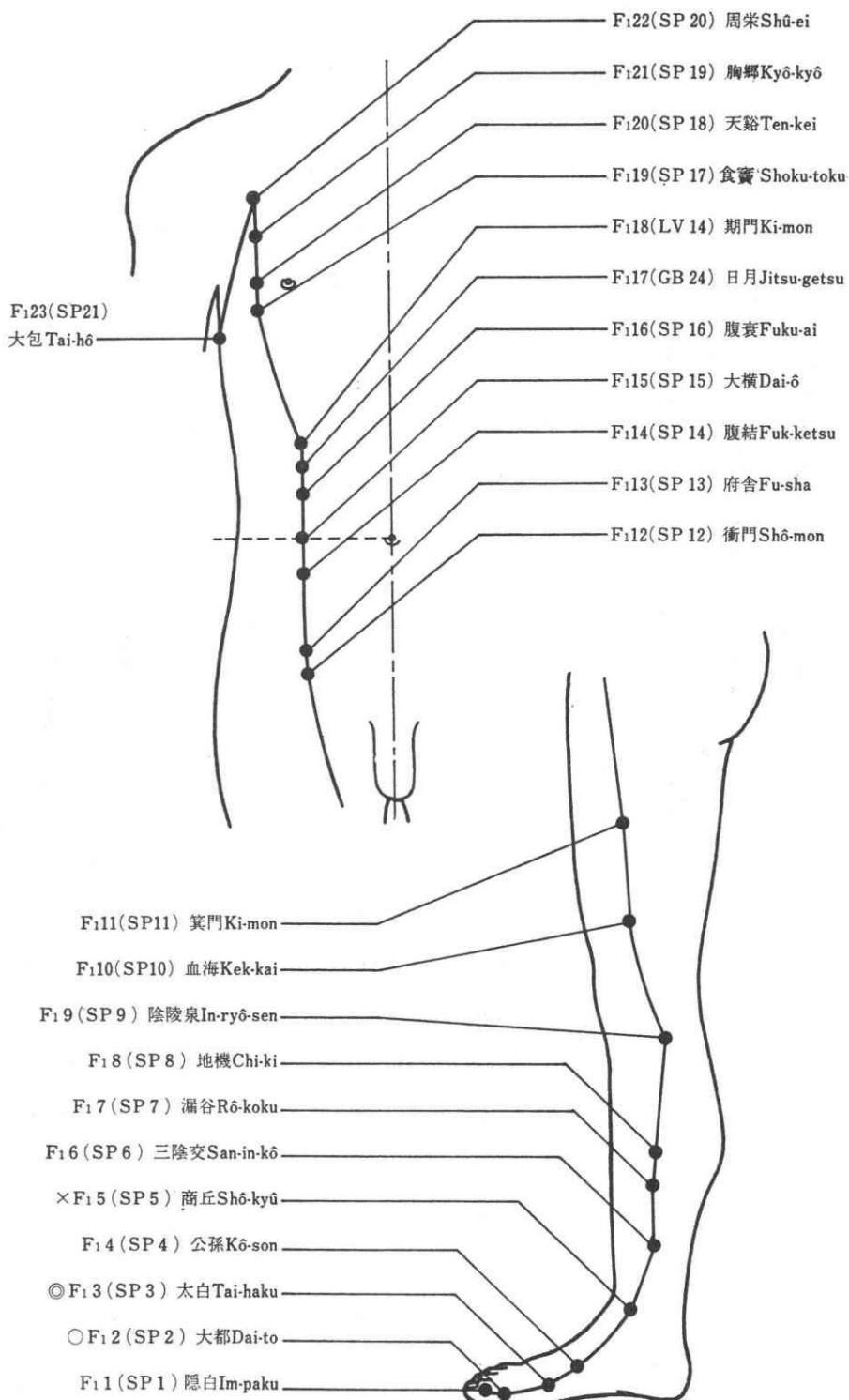
# H6 Large Intestine Meridian (LI)

## 大腸経



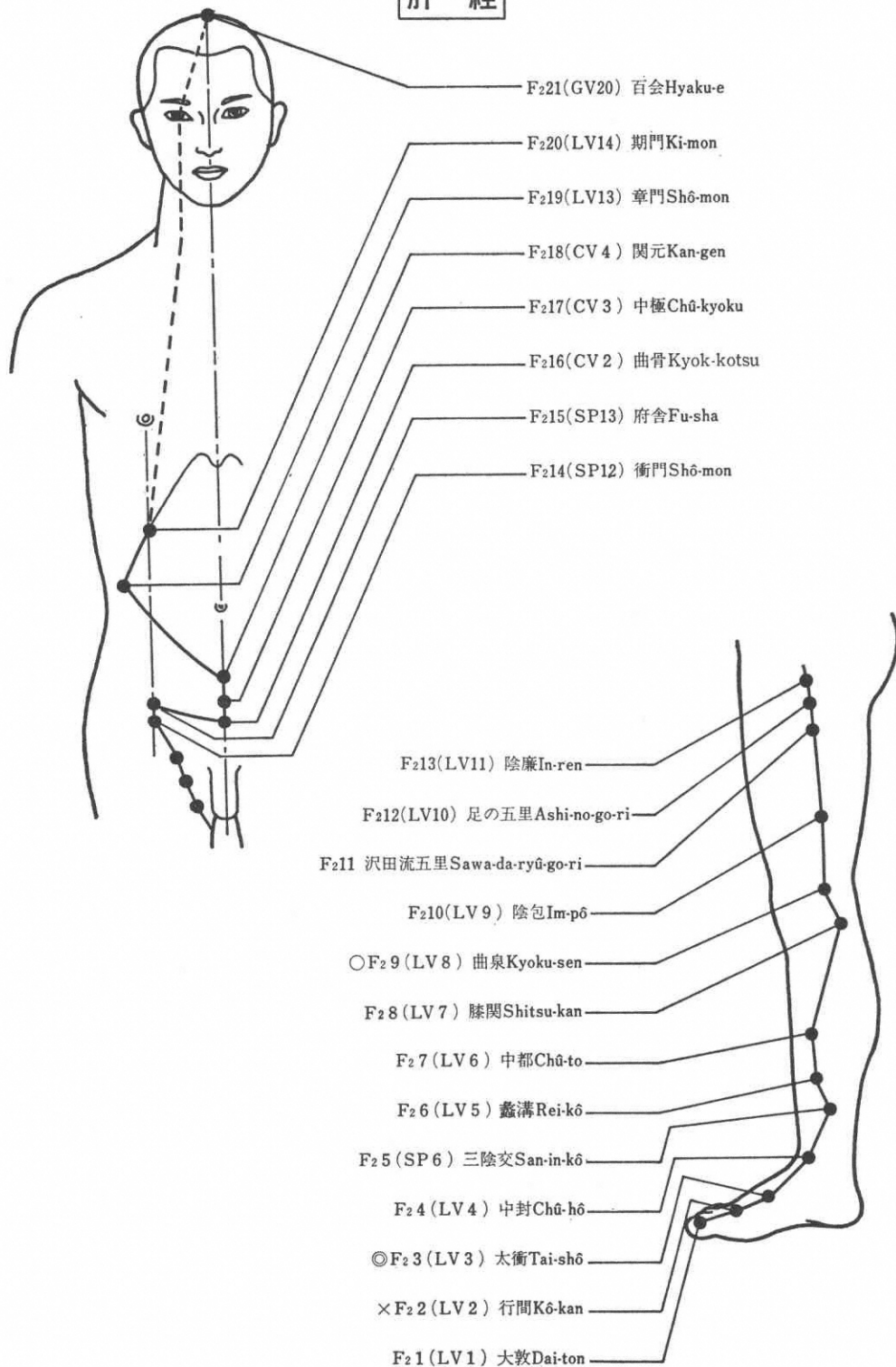
# F<sub>1</sub> Spleen Pancreas Meridian (Pancreas) (SP)

脾 經



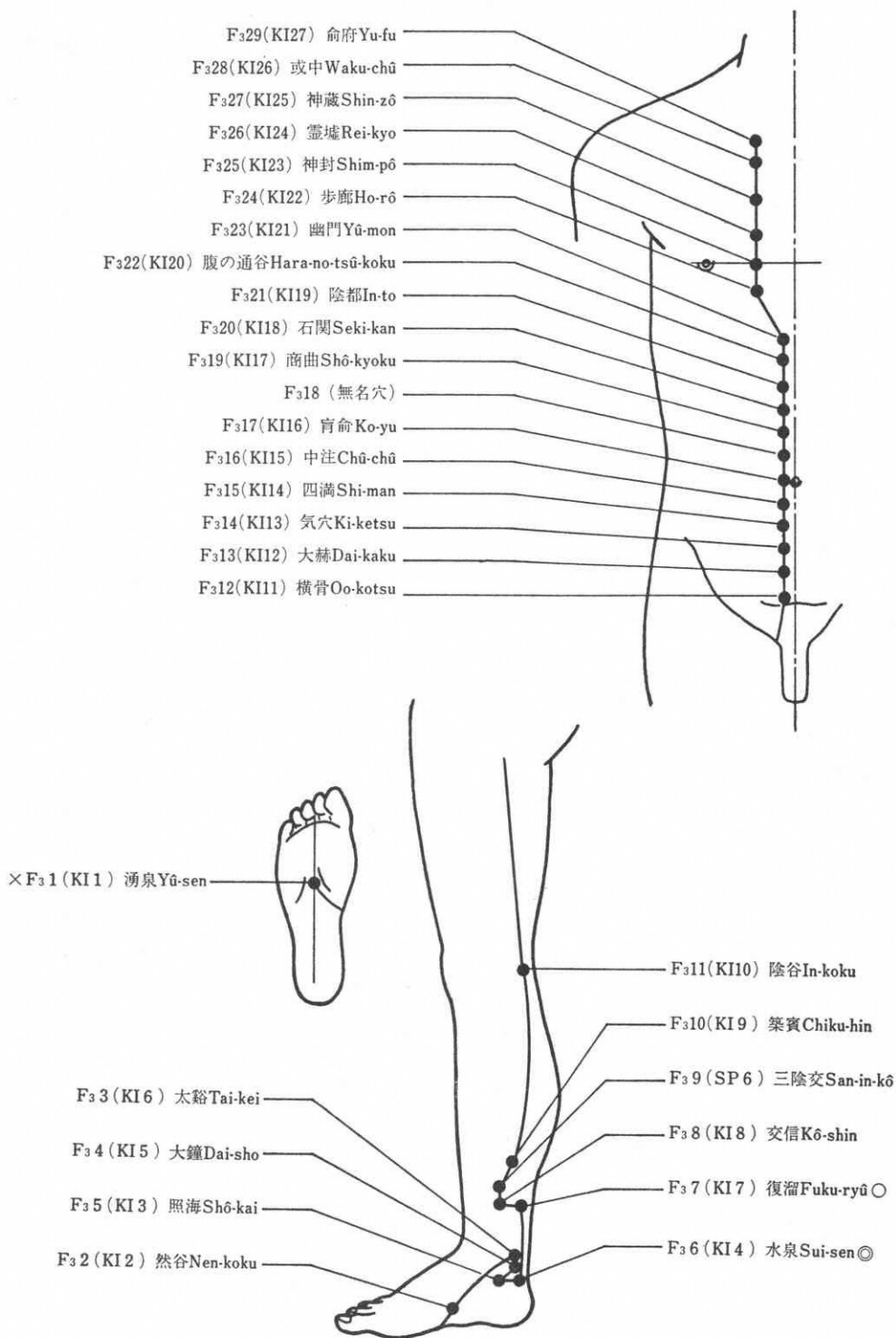
# F2 Liver Meridian (LV)

肝 經



# F3 Kidney Meridian (KI)

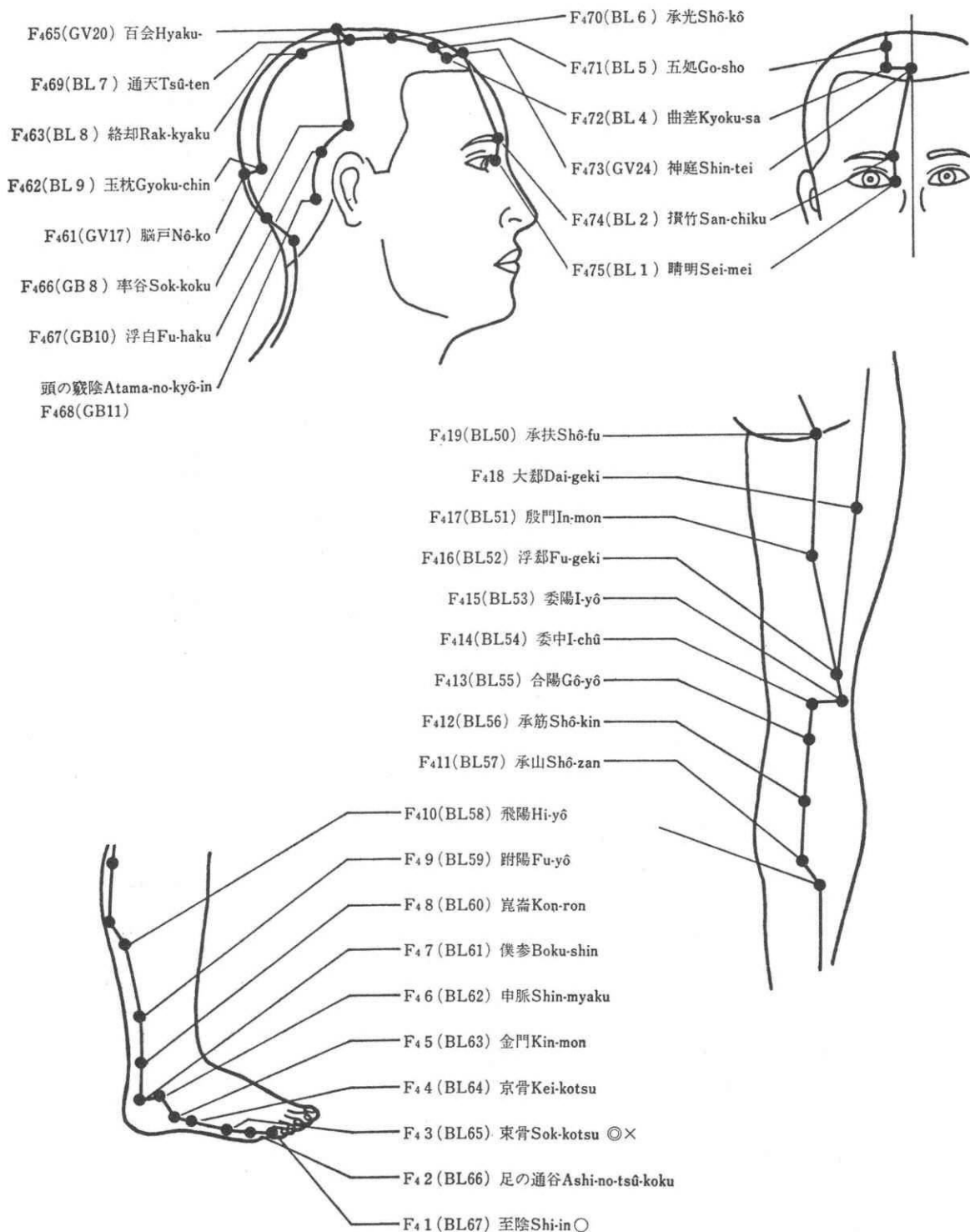
## 腎 經





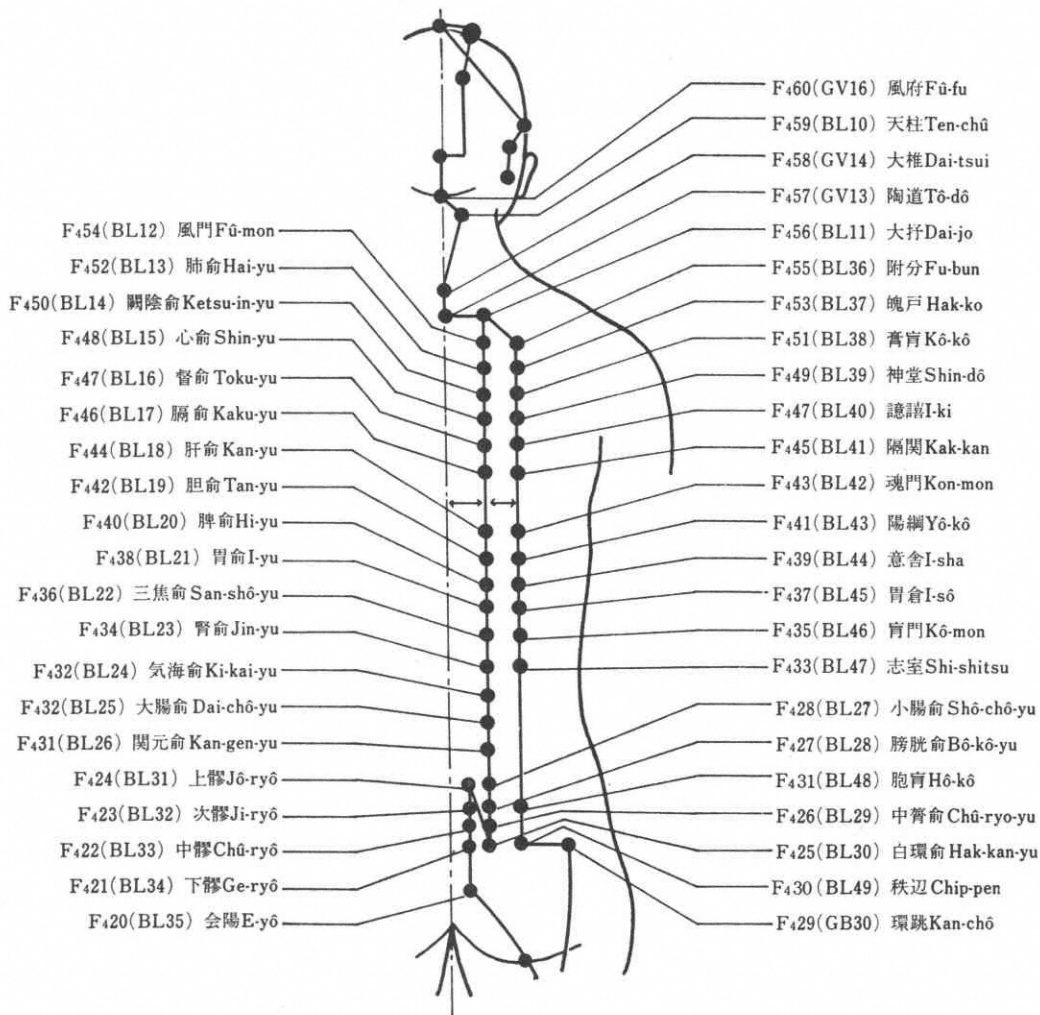
# F4 Bladder Meridian (BL)

## 膀胱経 (その1)



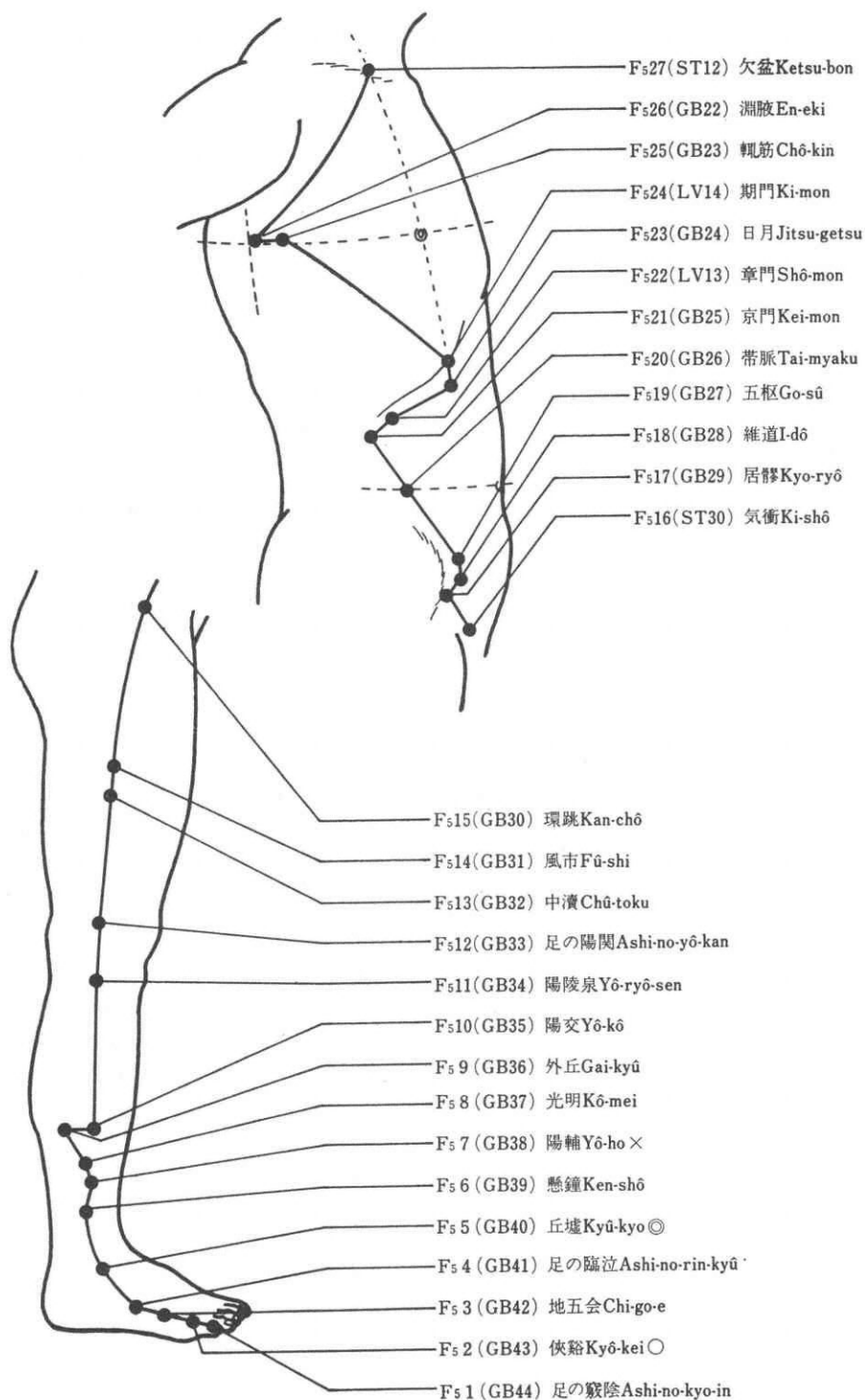
# F4 Bladder Meridian (BL)

## 膀胱経 (その2)



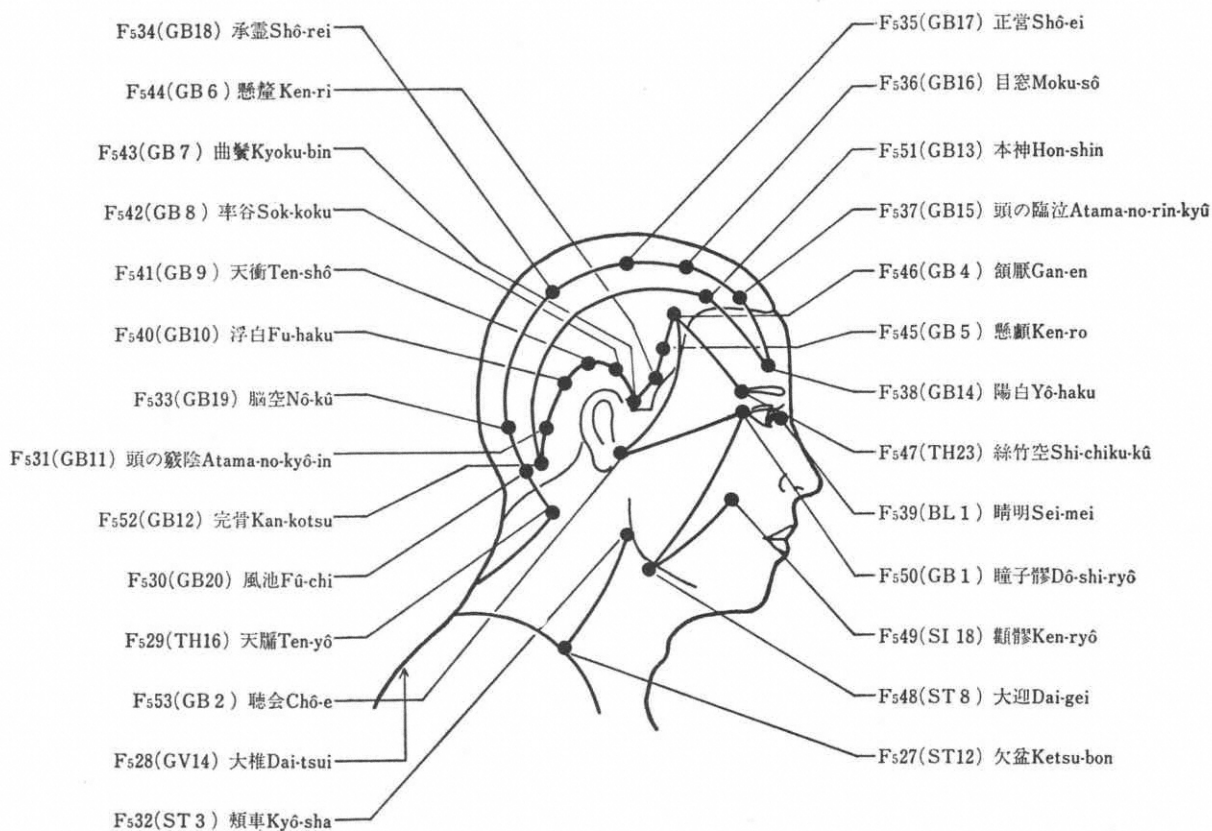
# F5 Gall Bladder Meridian (GB)

## 胆 経 (その1)



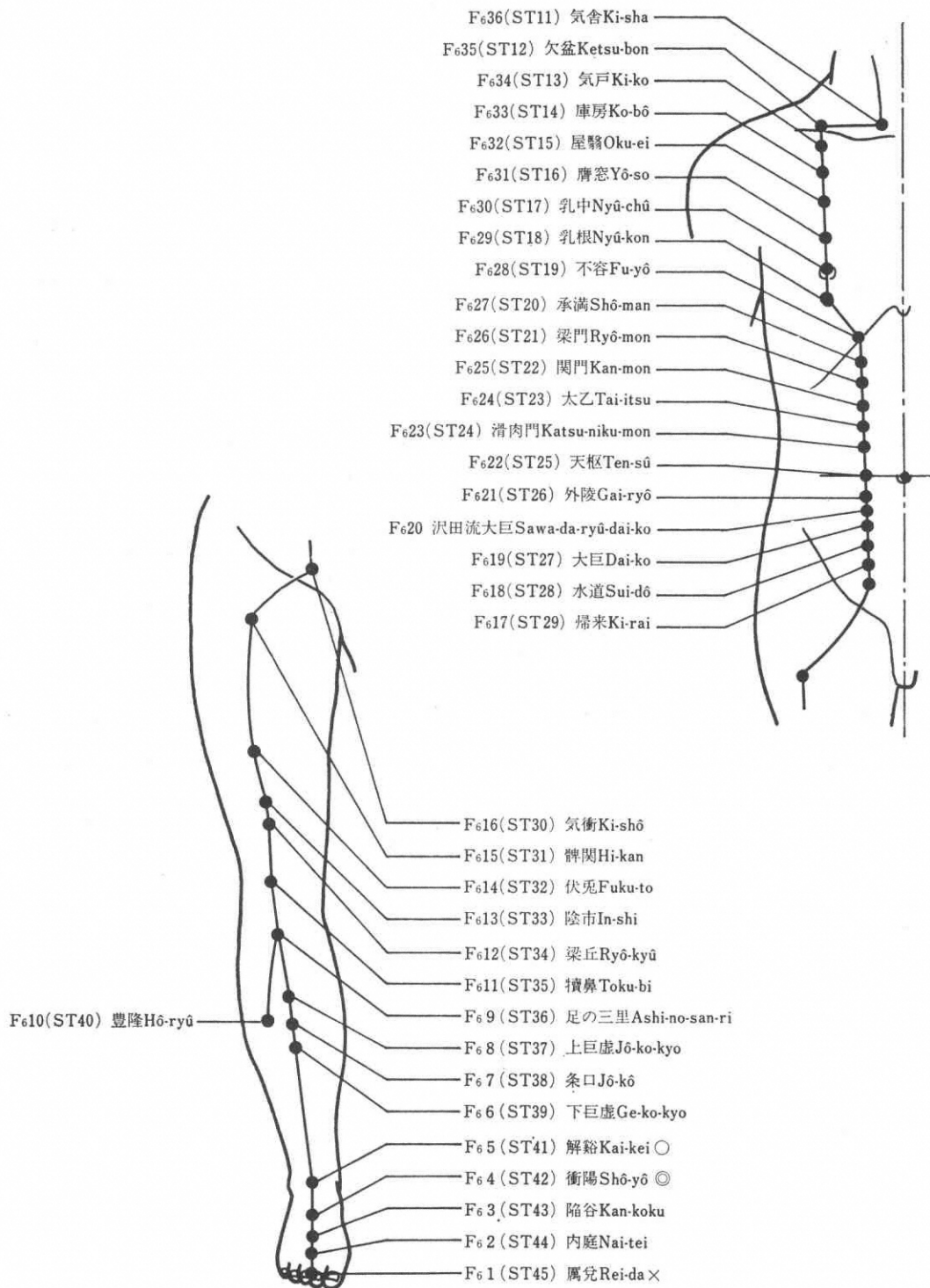
# F5 Gall Bladder Meridian (GB)

胆 経 (その2)



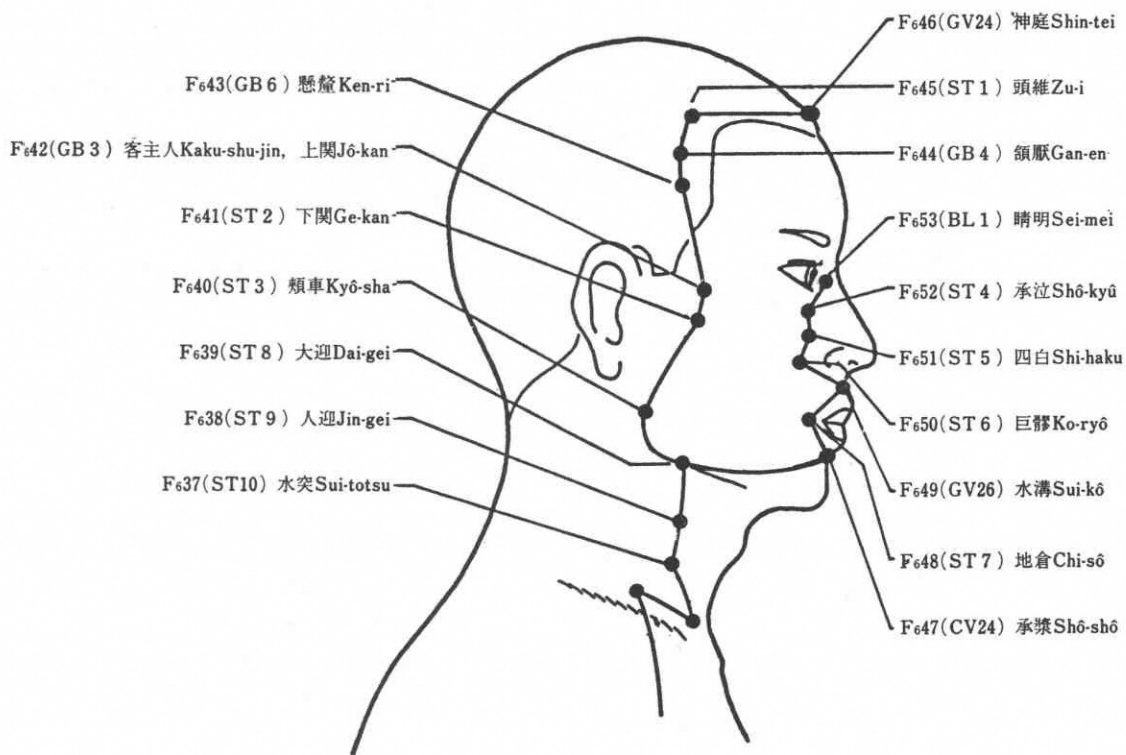
# F6 Stomach Meridian (ST)

## 胃 経 (その1)



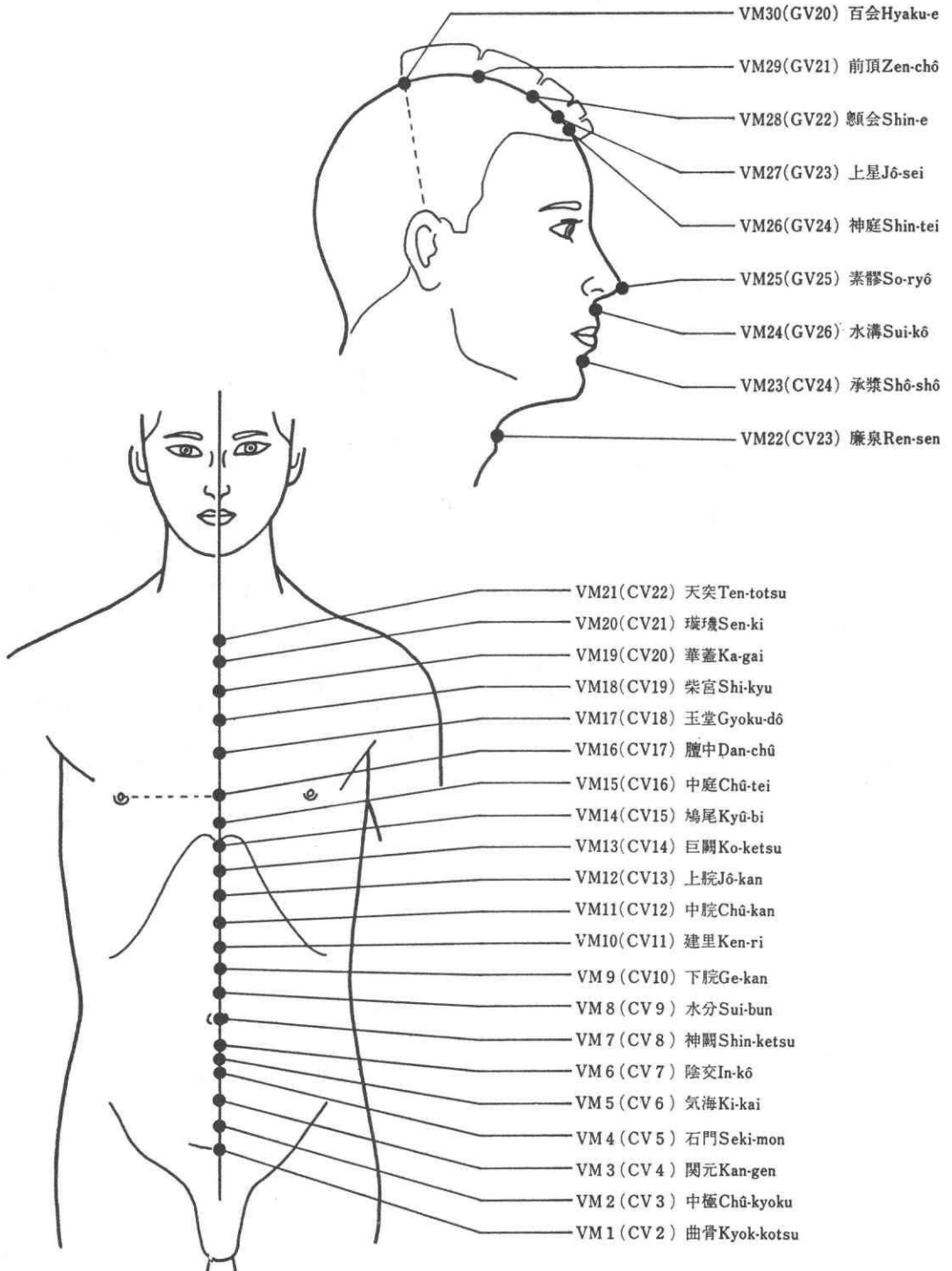
# F6 Stomach Meridian (ST)

## 胃 経 (その2)



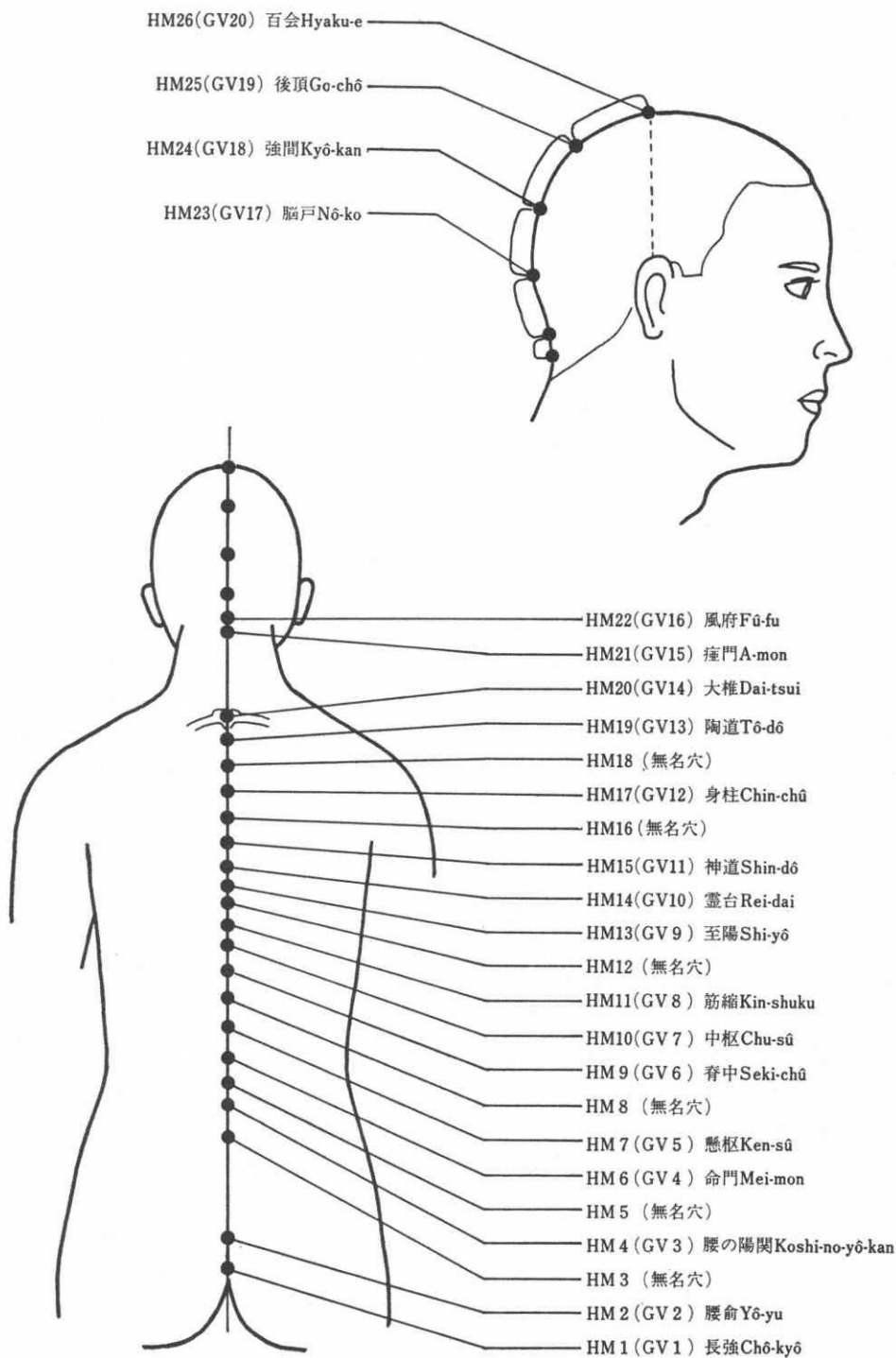
# VM Conception Vessel Meridian (CV)

任 脈



# HM Governor Vessel Meridian (GV)

督脈





## (2) 良導絡を理解するに必要な解剖と生理

良導絡の形態は今までにわかっている神経支配等には全くみられないものであり、なぜこのような形になるかについては不明である。しかし、反応良導点をつなぐことにより一定のすじができるので機能的な交感神経のつながりと推定される。良導絡の理解にはマッケンジーの内臓皮膚反射理論に拠ることが最もわかり易い。良導絡測定により、どの臓器に異常があるらしいかが、大凡の見当がつけられる。この点プライマリーケアにとって大変便利な方法である。又、良導絡の興抑がわかれば大凡どんな症状があらわれてき易いか、統計的に別記のような良導絡症候群(1000例の統計)にまとめられている。自律神経系は生体のホメオスタシスの大きな担い手の1つであり、求心系、遠心系、そしてその調節機構の解明に関して、すでに、膨大な研究のつみ上げがなされている。求心系に関しては佐藤博士らの業績、即ち心臓、膀胱、消化管などの活動に対する体性求心性入力による反射効果が広範にしらべられている。遠心系に関する実験研究は今後の問題と考えられよう。山下博士によれば、フランスのニボワイエの経穴の概念では、経穴とは縦型にやや密になっている部があり、ラセン状の血管網が認められ、この血管構造はコリン作動性の無髄神経繊維にもとより囲まれ、そこに有髄神経繊維とリンパ管が貫流していると報告している。これが電気抵抗の変化と何らかの関係をもっているのではないかの事である。もともと良導点は、機能的なものであり、解剖学的な変化は現在みとめられないが、医学の進歩と共に或いは解剖学的変化が見出されるかも知れず、今後の研究の進歩にまつ他はない。良導絡が中国古典にみられる経絡と相似であることは学者の意見の一致するところである。

## (3) 良導絡でわかること

i) 身体のどこかに異常があると皮膚に反射されて反応良導点があるので、その探索により病的部位の存在を知ることができる。例えば腹部における虫垂炎、たんのう炎、肝炎等の場合、周囲よりも20~30 $\mu$ A高い部分がでてくれば疑をもつべきである。

ii) 良導絡を測定した場合、平均電流値の高さから体力の盛衰状態がわかる。体力がおちてくると平均電流値が低くなる。又、高齢者は一般に低くなり、若年者は一般に高い。

iii) 疾病の経過の示標となる。

iv) 不問診により、患者にきかなくても患者の症状をあてることができる。

v) 漢方処方虚実の証の参考にすることができる。

## (4) 良導絡記録の実際

良導絡の測定は、各々の良導絡の代表測定点の電流量を測ることによって数字であらわされる。

測定の仕方：ノイロメーターの目盛りを12Vに合わせる。まず測定導子のエポナイトの中に水または消アルをさせた綿を入れ、綿と、エポナイト底部の金属とが充分接触させる必要がある。綿は固すぎてもいけないし、やわらかすぎてもいけない。次に電源を入れ、測定導子の綿の部分と握り導子の金属の部分とを接触させ、200 $\mu$ Aの電流が流れるように可変抵抗をあわせる。

測定は左右左右の順に測るが患者は仰臥位または坐位にし十分安静を保たせる。H<sub>1</sub>—H<sub>6</sub>を測るには、前腕の屈側を上向きにし、腕関節のま下で一直線になるようにH<sub>1</sub>—H<sub>3</sub>までを測定する。この際、握り導子は一定の強さで軽く保持するようにもたせ、測定導子は皮膚に垂直にあて、強からず弱からず、びたりとあてる。そして心の中で、いち、に、さんとかぞえて各良導絡を同じ時間で測る。この同じ長さではかることが重要である。測定導子を長く接触させておくと、その刺激のために電流がよけい流れるようになるのでいけない。つぎに反対側の腕関節の直下にてH<sub>4</sub>—H<sub>6</sub>の左右をはかる。

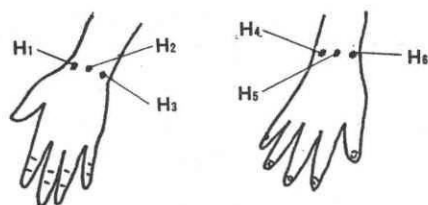
F<sub>1</sub>—F<sub>6</sub>を測る場合は足の拇指のねもとのふくれた部分の側面で、ふくれた部分の外周に接触させてF<sub>1</sub>の左右を測定する。F<sub>2</sub>は拇指から内踝をむすんだ線上でまんなかのふくれた部分の内斜面の部分。F<sub>3</sub>は内踝中心とかかとの中心をむすんだ線上で内踝の外周に接したところ。F<sub>4</sub>は足の外側の小趾のふくれた部分の側面で、ふくれた部分に接するところ。F<sub>5</sub>は第

4趾外側と外髁のまんなかをむすんだ線上で外髁外周の前下。F<sub>6</sub>はあしくびのへこんだ所と第2指の第1関節をむすんだ線上の真中の所。

以上で測定された値を、良導絡カルテにかき入れる。測定された値を全部加え、24でわると平均値がでる。その平均値をカルテの左右の平均値の欄に記入し、その線上に幅 1.4cm のものさし（ノイロメーター附属品）の中心線をおき、ものさしの上下に横線をひくと生理範囲がひかれる。即ち、測定値がこの上下の線の間即ち生理範囲に入っておれば異常がなく、上下にはみ出たときは異常がある。上へはみでたものは興、下にはみでたものは抑とする。興抑がわかると治療点もきめられ、興奮点、抑制点または調整点を刺激することによって各良導絡は調整される。これらの作業はコンピューターの導入によって大変便利かつ確実となった。

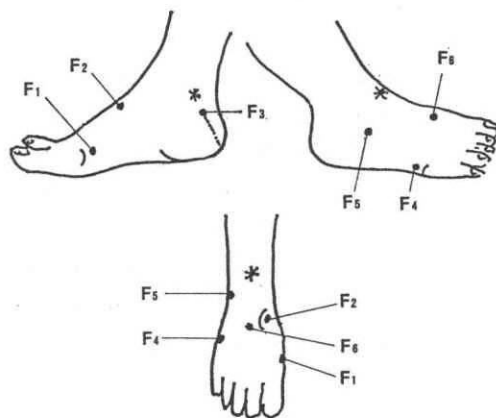
## 代表測定点

### 手の代表測定点



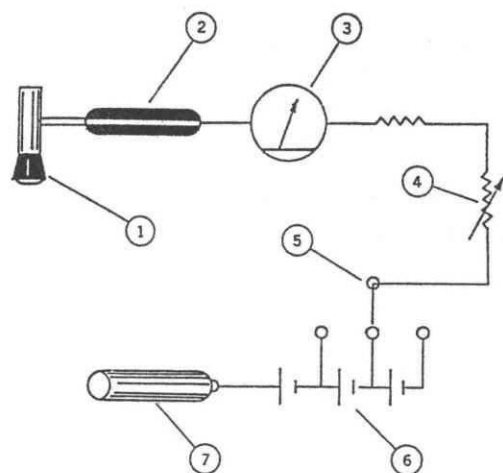
- H<sub>1</sub> H<sub>13</sub> (太測) 手首の撓骨側  
 H<sub>2</sub> H<sub>23</sub> (大陵) 手首内側の中央やや H<sub>4</sub> より、薬指の線  
 H<sub>3</sub> H<sub>33</sub> (神門) 拍動が感ぜられる茎状突起の求心側  
 H<sub>4</sub> H<sub>45</sub> (陽谷) 中指関節の尺骨側  
 H<sub>5</sub> H<sub>54</sub> (陽池) 腕関節の中央やや H<sub>4</sub> より、薬指の線  
 H<sub>6</sub> H<sub>65</sub> (陽谿) 伸ばした親指のくぼんだ部分

### 足の代表測定点



- F<sub>1</sub> F<sub>13</sub> (太白) 第1足趾の中央  
 F<sub>2</sub> F<sub>23</sub> (大衝) 第2足趾切線の求心側の中央  
 F<sub>3</sub> F<sub>36</sub> (水泉) 外踝の後方点とアキレス腱の間  
 F<sub>4</sub> F<sub>43</sub> (束骨) 指節と中指骨関節の結節の後凹部分  
 F<sub>5</sub> F<sub>55</sub> (丘墟) 外踝の下前方  
 F<sub>6</sub> F<sub>64</sub> (衝陽) 3～4指骨の集合点

### 装置の基本構造



1. エポナイト カップ
2. 探索導子 (関電極-)
3.  $\mu$ Aメーター
4. 可変抵抗
5. 変圧器 (6V・12V・21V)
6. 電池
7. 握り導子 (不関電極+)

### (5) 良導絡専用カルテの読み方

測定値をカルテに記入し終ると、まず、上記のようにして生理範囲を出す。臨床的にはこのような方法でなく上3～4、下3～4の興抑を求めて水平に横線をひき、はみ出たものを病的として使用すれば充分である。



## 良導絡症候群

	電流量の病的に多い場合（興）		電流量の病的に少ない場合（抑）
H <sub>1</sub> （肺）	肩のこり、のぼせる、痔、喘息、咳嗽（咽喉に異常、頭痛、肺脹って汗が出る、欠盆痛、動悸、肩背痛、小便頻数にして量は少ない、熱気）	鼻 皮膚	手足冷え或はしびれる、喘息、呼吸苦しい或は弱い、咽喉乾き、皮膚異常、（耳鳴り、気分が悪い、肩背痛、悪寒）
H <sub>2</sub>	肩のこり、50肩、上膊痛、心臓、目充血（心囊？）		動悸、手掌が熱く感じる、低血圧、胸苦しい、
H <sub>3</sub> （心）	胃がはり、便秘、心筋硬塞をおこした後、心臓病、手足重く、咽が乾く、（上肢が冷え、目黄、手掌は熱く、身熱、胸苦しい、頭痛、言語障害）	舌、眼	心悸亢進、低血圧、心下部が痛み、不安（上肢が冷え、目黄色く、手掌が熱く、下痢、呼吸が弱い、悪寒、言語障害）
H <sub>4</sub> （小腸）	下腹はり、頭痛、関節痛、胸苦しい、（便秘、口瘡、身熱、汗が出やすい、頸がはれ回し難い）	ロイ マチス 舌眼耳	頭痛、下腹部の異常、耳鳴、難聴、（目黄ばむ、下痢、身寒、手足が冷える）
H <sub>5</sub> （淋巴管）	小便異常、耳鳴、難聴、下腹堅く、（顔面赤く汗が出る、咽腫）	耳、眼 肩	つかれやすい、皮膚のつやがない、がん、腹がつかえ、呼吸苦しい、体毛、微熱
H <sub>6</sub> （大腸）	肩のこり、歯痛、痔、頭痛（頸や頬が腫れる、腹満、身熱、咽乾、喘咳、眩暈、手指倦怠、皮膚異常）	皮膚 肩、口 鼻	肩のこり、便通異常、下痢、咽乾、耳鳴、不快で気が落ちつかない、（喘息、皮膚に異常）
F <sub>1</sub> （脾）	膝関節炎、胃部異常感、糖尿病、腹がはり嘔気、（胸苦しい、食傷、下痢、便秘、足冷え、蓄膿）	肋間 精神病	不眠、胃が弱い、膝関節の異常、便通異常、下痢、嘔気、嘔吐、腹がはる、放屁すると気持ちいい、疲れやすい、食事がまずい（黄疸）
F <sub>2</sub> （肝）	月経異常、不眠、怒る、眩暈、眼病、生殖器症、胸脇苦満、気分不快、腰痛、（熱が出たりひいたりする）	生殖器 肋間 眼、筋肉	立ちくらみ、起立性循環障害、胃部堅く、性慾減退、小便がもれ易い、視力減退、気力が無い、手足無力、脱腸
F <sub>3</sub> （腎）	気分が落ちつかない、高血圧、腎性高血圧、生殖器病、咽舌乾、下腹満、胸さわぎ、喘咳、足が熱い、	耳、脳 生殖器	性慾減退、記憶力減退、こんきなくつかれやすい、副腎の機能減退、足腰が冷える、慢性腎炎、耳鳴、耳聾、物わずれ、眩暈、不食、体重く、（手足麻痺、便通異常）
F <sub>4</sub> （膀胱）	頭痛、後頭部にこり、背部異常、腰痛、眼の奥の鈍痛、高血圧、足神経異常、坐骨神経痛、（涙が出る、眼痛、鼻出血、脳病、癲癇）	眼、耳 鼻、脳	後頭部にこり、背はり、腰痛、足神経異常、坐骨神経痛、頭痛、眼のおくのいたみ足痛、痔、背部悪寒、脚気、足がだるい、
F <sub>5</sub> （胆）	頭重、口乾、頭痛、食慾不振、怒りやすい、（嘔逆、悪寒、発熱、汗出）	頭部 眼、筋肉	目に力がない、目の異常、低血圧、がん、眩暈、手足が弱く、よろめく、（溜息、目黄ばむ、顔に元気がない、血圧異常）
F <sub>6</sub> （胃）	関節腫痛、50肩、口唇乾、噁、（乳腺炎、食慾異常亢進、熱があっても汗が出ない）	精 神 歯、口、 鼻、眼	あくび、憂鬱、性慾減退、口唇乾き、腹鳴、腹痛、手足重く、顔面浮腫、（悪寒、下痢）

良導絡症候群の中、ゴジック体にした症状はほぼ80%出現する。

左右差の甚しいときは、体表、体表反射によって起ることが多く、H<sub>1</sub>—H<sub>6</sub>間の左右差のある場合、50肩、上腕神経痛、麻痺、F<sub>1</sub>—F<sub>6</sub>のときは、坐骨神経痛等が考えられる。

次表の如く上肢で測定した電流量が平均に高く、下肢の測定値が低いということが一般的に多いので、このような型を一般型とよんでゐる。

一般型

		年 才 職												発病			年 月 日			
姓名		年 月 日												初診			年 月 日			
病名		所												電						
一般型																				
平均値		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		平均値		
		左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右	左	右			
180	150	170	140	170	200	200	160	130	150	150	30	450	180	150	140	130	120	110	160	
150	140	160	130	160	190	190	150	120	140	140	30	440	150	140	130	120	110	100	140	
140	130	150	120	150	170	170	140	110	130	130	30	430	140	130	120	110	100	90	130	
130	120	140	110	140	160	160	130	100	120	120	30	420	130	120	110	100	90	80	120	
120	110	130	100	130	150	150	120	90	110	110	30	410	120	110	100	90	80	70	110	
110	100	120	90	120	140	140	110	80	100	100	30	400	110	100	90	80	70	60	100	
100	90	110	80	110	130	130	100	70	90	90	30	390	100	90	80	70	60	50	90	
90	80	100	70	100	120	120	90	60	80	80	30	380	90	80	70	60	50	40	80	
80	70	90	60	90	110	110	80	50	70	70	30	370	80	70	60	50	40	30	70	
70	60	80	50	80	100	100	70	40	60	60	30	360	70	60	50	40	30	20	60	
60	50	70	40	70	90	90	60	30	50	50	30	350	60	50	40	30	20	10	50	
50	40	60	30	60	80	80	50	20	40	40	30	340	50	40	30	20	10	0	40	
40	30	50	20	50	70	70	40	10	30	30	30	330	40	30	20	10	0	-10	30	
30	20	40	10	40	60	60	30	0	20	20	30	320	30	20	10	0	-10	-20	20	
20	10	30	0	30	50	50	20	-10	10	10	30	310	20	10	0	-10	-20	-30	10	
10	0	20	-10	20	40	40	10	-20	0	0	30	300	10	0	-10	-20	-30	-40	0	
5	-5	5	-15	5	-25	-25	5	-35	-5	-5	5	290	5	-5	-15	-25	-35	-45	-5	
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		H <sub>5</sub> ・H <sub>6</sub>		H <sub>7</sub> ・H <sub>8</sub>		F <sub>1</sub> ・F <sub>2</sub>		F <sub>3</sub> ・F <sub>4</sub>		F <sub>5</sub> ・F <sub>6</sub>		F <sub>7</sub> ・F <sub>8</sub>		H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>		H <sub>3</sub> ・H <sub>4</sub>		
H <sub>1</sub> ・H <sub>2</sub>																				

## (6) コンピューターによる測定の利点

- 従来のノイロメーターはメーターの特性によりデータのばらつきがみられたが、ノイロシステムビジョンは中谷理論による600～700ミリ秒という、短い通電時間でもデジタルでただちに描記しうる特長がある。又、測定導子をおさえる圧力も60g以上にならないようセットしてあるので正確である。
- 描記はすべてコンピュータがしてくれるので、測定者は1名でたりるし、コンピュータの利点を利用して1枚のディスクに4000例保存でき、いつでもとりだすことが可能となり、4回の測定データを一枚のチャートにプリントし比較することができる。
- 良導絡の左右差を円形カルテ（レーダーチャート）に描記している。
- 良導絡症候群の多数例による再検討が可能となり、不問診の確実性を増すことができる。
- 漢方の証の決定に有利である。

皮膚通電抵抗は、時間並びに電圧などによって、加速的に変化する。したがって、その測定は出来得る限り短時間で、しかも一定の時間であることが望ましい。その点、コンピューターを使用することは極めて有意義である。

皮膚通電抵抗の特徴として、0.2秒以内では分極がおこって、測定値が安定しない。そうした弊害をさけて、0.6～0.7秒に設定しておく必要がある。

また、通電により測定対象が変化してしまつては、正確な測定とは考えられない。したがって、長い時間をかけることは適當ではない。

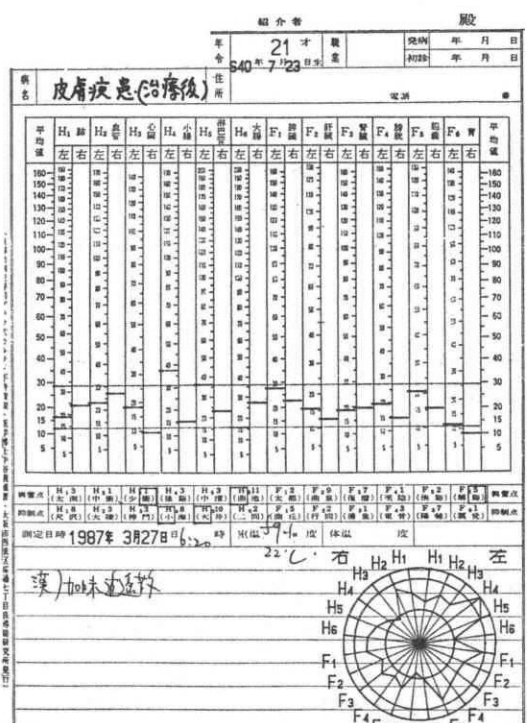
次に上肢の測定値が低く下肢の測定値が高い場合は神経質人が多いので逆型、または神経質型とよんでいる。

測定値が全般的に高い場合は室温が高いか、若い人のときが多いが、そうではなくて、年齢による電流量の統計と比較してもなお、高い場合は、交感神経緊張型といい、逆に低い場合は交感神経低下型といい、主として老人に多い。

良導絡グラフの興抑より上記のような症状が推定され不問診に利用されるが、疾病によりどのような型を示し易いかについてはばつばつ統計データがではじめてきているので、やがて一定の結果が示されると予測できる。

良導絡診断のもう1つの項目である反応良導点の探索法は後の良導絡治療の項でのべる。

## コンピューターによる治療前・治療後の測定例



## 喘息(治療前)



## 喘息(治療後)

